

SOKYO  
ATSUMI



ジョン・メイソン、*Triangles*、1984、陶、各 H80 × W91.4 × D13.9 cm

## ジョン・メイソン

2021年12月15日(水) - 2022年4月2日(土)

SOKYO ATSUMI

140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階 #304

開廊時間：11:00 - 18:00 (火 - 木) 11:00 - 19:00 (金・土)

休廊日：日・月

SOKYO ATSUMI

140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階

+81 (0)80 7591 5212

# SOKYO ATSUMI

## プレスリリース

この度 SOKYO ATSUMI（東京）ではジョン・メイソン展を開催致します。2017年に現代美術 舩居（京都）で開催された初個展「ジョン・メイソン:A SURVEY」に引き続き、日本では2度目の個展となります。

前世紀の最も先見性のあるセラミックアーティストの一人として、土の可能性を物理的、空間的に大きく飛躍させ、革新的な制作活動を繰り返してきたメイソン。これまでの陶芸の考え方から一脱し、スケール感のある抽象的で斬新な作品を制作しました。彼のウォールレリーフや表現力豊かな彫刻作品は、当時の抽象表現主義に呼応するものでした。

1950年代に西海岸で活動を開始したメイソンは、1957 - 1965年は、ピーター・ヴォーコスとスタジオを共にしながら土の物理的な性質や可塑性を探求しました。70年以降は空間的な体験、視覚的錯覚、建築的な展示など、メイソン独自の世界を確立しました。線対称、回転、質量を巧妙に組み合わせた幾何学的な造形と色彩の融合などが、メイソン作品の特徴となり、概念や作品の組織化へとシフトされて行きました。

2011年から12年にかけてゲッティセンターで開催された「Pacific Standard Time: Crosscurrents in L.A. Painting and Sculpture, 1950-1970」や、2014年に開催されたホイットニー・ビエンナーレに出品するなど、メイソン作品への関心が再び高まっています。近年では、シオ・クサカ、スターリング・ルビー、エド・ルシェ、ジョナス・ウッドなどの現代アーティストが、影響を受けた重要なアーティストとしてメイソンを挙げています。

日本でのメイソンの展覧会は1964年の「現代国際陶芸展」東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、1971年の「現代の陶芸：アメリカ・カナダ・メキシコと日本」京都国立近代美術館、東京国立近代美術館（72）、1989年の「能弁なオブジェ：現代アメリカ工芸の展開」京都国立近代美術館、東京国立近代美術館（90）、1994年の「陶芸の今」愛知県陶磁美術館の4展に加え、2017年の「開館15周年記念 コレクション×クロニクル-制作年からみる岐阜県現代陶芸美術館コレクション」岐阜県現代陶芸美術館で取り上げられるなど、多くの日本人アーティストにも影響を与えています。

本展では1984年に制作された「Triangle」の彫刻をはじめ、メイソンの最晩年作である2016年の「Cross, Folded, Jadeite」までの貴重な作品13点を展示し、メイソンの土における革新と実験を示します。西洋と東洋の影響を混ぜ合わせながら、新境地を確立したメイソンの作品をこの機会にぜひ高覧ください。

# SOKYO ATSUMI

ジョン・メイソン (John Mason) (1927-2019)

1927年アメリカ、ネブラスカ州マドリッド生まれ。1954年にシュイナール・アート・インスティテュート（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）、1956年にオーティス・アート・インスティテュート（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）を修了。ロサンゼルスにて制作を行った。

主な展覧会には、「現代国際陶芸展」東京国立近代美術館（東京）、京都国立近代美術館（京都）（1964年）；「現代の陶芸：アメリカ、カナダ、メキシコと日本」東京国立近代美術館（東京）、京都国立近代美術館（京都）（1971年）；「ホイットニー・ビエンナーレ」ホイットニー美術館（ニューヨーク・ニューヨーク・アメリカ）（1973年）（同2014年）；「陶の彫刻：6人の作家たち」ホイットニー美術館（ニューヨーク・ニューヨーク・アメリカ）、サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ・カリフォルニア・アメリカ）（1981年）；「雄弁なオブジェ：現代アメリカ工芸の展開」東京国立近代美術館（東京）、京都国立近代美術館（京都）（1990年）；「陶芸の今」愛知県陶磁美術館（瀬戸・愛知）（1994年）；「KPMG ピート・マーウィック米国工芸コレクション」スミソニアン・アメリカ美術館（ワシントン D.C.・アメリカ）（1994年）；「オーティス：ロサンゼルス 90年の美術」ロサンゼルス・カウンティ美術館（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）（2006年）；「パシフィック・スタンダード・タイム：アート・イン・ロサンゼルス 1945-1980」ゲッティセンター（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）（2011年）などほか多数。

主なコレクション先は、愛知県陶磁美術館（瀬戸・愛知）；京都国立近代美術館（京都）；岐阜県立美術館（岐阜）；国立台湾歴史博物館（台北・台湾）；サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ・カリフォルニア・アメリカ）；シカゴ美術館（シカゴ・イリノイ・アメリカ）；スミソニアン協会国立アメリカ美術館レンウィック・ギャラリー（ワシントン D.C.・アメリカ）；ボストン美術館（ボストン・マサチューセッツ・アメリカ）；ミュージアム・オブ・アーツ・アンド・デザイン（ニューヨーク・ニューヨーク・アメリカ）；メトロポリタン美術館（ニューヨーク・ニューヨーク・アメリカ）；ロサンゼルス・カウンティ美術館（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）；ロサンゼルス現代美術館（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）など他多数。

是非、貴社・貴誌にてご紹介いただけますと幸甚に存じます。  
掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡頂けますと幸いです。

プレス担当: 元林久美子

〒605-0089 京都市東山区古門前通大和東大路東入元町 381-2

motobayashi@gallery-sokyo.jp

Tel: 075-746-4456 Fax: 075-746-4457

SOKYO ATSUMI

140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階

+ 81 (0)80 7591 5212